

## ボランティア現場から見た無電柱化

無電柱化を推進する理由の1つとして防災があります。先月鬼怒川では台風18号のため堤防が決壊し、付近の住宅街が浸水しました。電柱によりヘリが救助できないなどの電柱による被災もあります。今回は鬼怒川でボランティアを行っている阿部真会員に現地の様子や電柱による被害をヒアリングしました。

### Q1、ボランティアをしている経緯をお教えてください。

A1、東日本大震災や広島、長野のボランティアは行きたくても遠くに行くのが難しかったのですが、常総市なら近場ですし、毎年出ているハーフマラソンでお世話になっている坂東市の隣街なので、自然と参加したくなり行きました。

### Q2、ボランティアに行った時の現地の印象をお教えてください。

A2、現地の方々は前向きでした。ボランティアと現地の方との共同作業が展開されてとてもいい雰囲気だったと思います。常総市主催のボランティア以外にもボランティアがありました。市主催に参加しましたが、ボランティアの数が多すぎて現地の依頼者との折衝が円滑に行われなかった為、実働時間が短くやる気が未消化で終わってしまった感がありました。それでも大勢のボランティアが活動してくれたのでかなりお役には立てたと思います。

### Q3、ボランティアではどのようなことをされましたか？

A3、1回目は9/14で直後でしたので比較的軽被害の地域を担当して、床上浸水20センチ位の戸建住居で掃除などをしました。2回目は9/21で、いよいよ入れるようになった決壊した鬼怒川現場すぐ横にある会社の倉庫を担当。浸水で散らかった物の整理などをしました。

### Q4、電線による被害はございましたか？わかる範囲でいいので教えてください。

A4、決壊した鬼怒川の前辺りでは電柱は根こそぎ折られたり傾いたりしていました。これだけの自然の破壊力では電線共同溝ならまだしも、直接埋設では破壊されてしまうと思いました。

### Q5、無電柱化を推進するために国民がすべきこと何だと思えますか？

A5、今無電柱化を牽引しているのは政府や地方自治体です。一般市民、一般大衆は受身の立場でしかありません。逆に一般市民、一般大衆が主体となり政府や地方自治体に働きかけ、牽引していくようになれば全国の無電柱化は必ず実現します。私たちの棲家を美しくしたいと願う心をすべての人々が持つこと。その為には私達一人一人が本能的にしたいこと、出来ることをする。美しいものを観る。気になることを調べる。気になる人と交流する。人脈を広げる。そういったことで価値観の創造、美意識の喚起が広範囲に浸透していくのではないかと考えています。

※阿部様ありがとうございます。やはり鬼怒川の辺りでは、電柱が倒壊しているようです。無電柱化を推進するにも、一般市民の方々に興味を持って頂けるように活動していきます!!

→被災前の鬼怒川



←被災後の鬼怒川

日本の空を、安全・安心で美しく！

# 美空 ~MISORA~

## 第85号

発行日:2015年10月25日

発行者:NPO 法人電線のない街づくり支援ネットワーク  
理事長 高田 昇

### 【活動報告】 ■理事会9月28日(月)18時~COM計画研究所

<技術開発委員会>井上理事:9月17日国交省道路局環境安全課訪問。無電柱化の世論を盛り上げることでNPOと協力したいとの話が出た。情報開示をNPOにするので活用して貰いたいとのこと。また、定期的なNPOと会合を開催する。

<井上事務局長>マスコミが取り上げてくれる情報であればさらによし。

<世論形成委員会>長谷川副理事長:10/23のセミナーは荒関理事を中心に打ち合わせ中。交流会会場は貸切り予定。プロジェクターがあるので会社紹介などの利用も可能。

<事業協力委員会>高田理事長:近江八幡市において重伝建地区の一部無電柱化を担当課長が提案したが、市長が全域でやろうということに。来年度調査費を計上して、調査すること。

井上事務局長:長久手市は断念。世田谷区の馬事公苑はフィーが発生しないとのことで相談のみ。無電柱化の日(火曜日)についての打ち合わせ。法案提出は延期。土木学会、景観・デザイン研究発表会(12月13日)『無電柱化と景観まちづくり』。場所は世田谷国士舘大学。寒地土木の岩田氏から無電柱化の話題提供の打診あり。

山本理事の海外地中化工事写真紹介(ドイツと上海の無電柱化工事等について)。

### ■東京活動委員会9月17日(火)19:00~ 経団連ビル8階

<活動報告>伊津理事:日本電線工業会との意見交換。

<報告事項>伊津理事:札幌支部の立ち上げのため岩田氏との打ち合わせ。無電柱化推進法案の成立について。

前川理事:無電柱化データベースの経過報告

井上事務局長:理事会報告、11月10日の無電柱化シンポジウムについて

<話題提供>高山理事:「無電柱化された美しい街並み事例紹介」越谷のレイクタウン報告(UR・大和ハウス)



←東京活動委員会



→大阪理事会

「美空」に載せてほしい事、調べてほしい事等ありましたら [info@nponpc.net](mailto:info@nponpc.net) までお送り下さい！  
皆様のご意見、お待ちしております！tel:06-6381-4000 Fax: 06-6381-3999(※番号変わりました)

◇次回理事会日程 大阪/10月23日(金)17時~ 堂島ビルディング A-1  
東京/10月29日(木)19時~ 経団連ビル8階

# 本当に順調？世界遺産の無電柱化

今回は日本の世界遺産とその世界遺産周辺の街の無電柱化の状況について、世界遺産管理団体・世界遺産がある地方自治体などにアンケート調査をしましたので、その結果を報告します！日本の世界遺産は2015年9月現在19あります。世界遺産単独ではなく、世界遺産周辺の街を含めてアンケートをとらせていただいたので全部で約40カ所にアンケート調査を行いました。(回答:24、未回答:14)

## Q1, 管理されている世界遺産の周りには、電柱や電線はありますか？

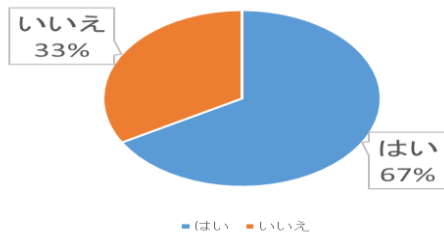
A1, 電柱、電線が世界遺産およびその周辺地区にあると答えた団体が16だという一方で、ないと答えた団体が8あるという結果になりました。8のうちにはすでに無電柱化を行った白川郷や清水寺、自然世界遺産である知床や白神山地、小笠原諸島などが含まれています。



→ 無電柱化前の白川郷

← 無電柱化後の白川郷

管理されている世界遺産の周辺には、電柱や電線はありますか？



## Q2, 「はい」とお答えの方にお聞きします。これらの電柱や電線は、問題になっていますか？

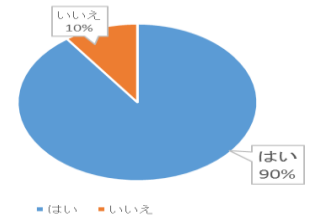
A2, 問題になっているという管理団体が10、問題になっていないという管理団体が6となりました。問題になっているのは、主に交通や景観が入っており、地元からも街路幅を広くしたいから無電柱化してほしいという意見もあります。景観面においては富士山世界文化遺産の構成資産「白糸ノ滝」周辺において、県道富士富士宮線沿線の電線・電柱が、眺望地点からの富士山の眺望景観を阻害している状況であるという具体的な意見もありました。

## Q3, Q2で「はい」と答えられた方のみ質問です。無電柱化を検討していますか？また、具体的な計画等があれば教えてください。

A3, 無電柱化を検討しているのは9、していないのは1となりました。検討しているところとしては、歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事業において電柱類景観改善事業として事業化するという計画や、静岡県から平成26年度に「富士山周辺地域の無電柱化推進検

討部会」を設置し、有識者の助言を得ながら電線管理者、地元市(富士宮市)等とともに検討した結果、主要な富士山眺望地点(※3箇所を選定)からの眺望景観を阻害する電柱計10本を撤去する方針を決定しました。平成28年度の工事着手、平成29年度までの無電柱化完了を目指し、現在は電線管理者との調整、設計等を実施しているという計画がある。その一方で検討していないところとしては将来的には無電柱化を行おうとは思っているが、現在では具体的な計画等はないという意見がありました。

Q2では「はい」と答えられた方のみ質問です。無電柱化を検討していますか？



## Q4, 当 NPO では無電柱化の無料相談(電話)を行っておりますが、無料相談をされますか？

A4, 回答22団体(未回答16団体)すべてが無料相談を行わないという結果になりました。もう具体的な計画があり、その計画に沿って順調に実行しているため、特に相談することはないという意見が多かったです。また現時点ではまだ計画も立てていないので相談できないという意見もありました。

※世界遺産、およびその周辺地区において電柱や電線に対して問題意識を持っているところは、無電柱化が順調に進んでいっています。しかし、電柱や電線はあるが、問題意識を持っていないところの無電柱化は進んでいません。我々NPO法人でも、日頃からの情報発信などで今問題意識を持っていないところにも無電柱化の魅力を伝えていくべきだと思いました。



→ 無電柱化前の清水寺周辺

← 無電柱化後の清水寺周辺

日本の電柱の現状について感じる事を1500字程度で書いてお送り下さい、掲載させていただきます。自己紹介(お仕事、住所等)と顔写真を添えて下さい。お待ちしております！事務局



最新情報はHPで <http://nponpc.net/> フェイスブック <http://www.facebook.com/NPONPC>

電線地中化に関するコラム・情報を月2回メールマガジンで配信しています！  
ぜひこちらも登録下さい！ → <http://www.mag2.com/m/0000266000.html>